

7月の農作物病虫害発生現況

(令和7年7月16日現在) 山口県病虫害防除所

1 巡回調査期間：7月9～11日

2 1か月気象予報（7月10日福岡管区気象台発表）

気温：低い10%、平年並20%、高い70%

降水量：少ない30%、平年並40%、多い30%

日照時間：少ない20%、平年並40%、多い40%

3 発生現況

【イネ】

○いもち病（葉いもち）

発生現況：平年並

ほ場調査：平年並 発生ほ場率13.3%（平年10.7%）、発病株率3.0%（平年3.4%）、発病度0.7（平年0.9）、病斑の最上位葉3.1（平年2.8）

今後の予想：平年並

予想の根拠：現況発生量（±）、気温は高い、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い（±）

備考：上位葉まで病斑が進展している場合や急性型病斑を認めた場合は、治療効果のある薬剤で直ちに防除する。

穂いもちの防除（出穂前防除、穂揃い期防除）を適期に実施する。

○紋枯病

発生現況：多

初発生：早い 7月10日（平年7月17日）

ほ場調査：多 発生ほ場率2.4%（平年0.5%）、発病株率0.1%（平年0.1%）、発病度0.0（平年0.0）

今後の予想：多

予想の根拠：現況発生量（+）、気温は高い、降水量はほぼ平年並（+）

備考：出穂14日前頃の発病株率が15～20%以上の場合に防除を行う。

○ばか苗病

発生現況：多

ほ場調査：多 発生ほ場率1.2%（平年0.1%）、発病株率0.1%（平年0.0%）

○縞葉枯病

発生現況：平年並

初発生：7月9日（平年7月27日）

ほ場調査：平年並 発生ほ場率 0%（平年 0%）、発病株率 0%（平年 0%）

今後の予想：平年並

予想の根拠：現況発生量（±）、ヒメトビウンカ発生量：平年並（±）

○セジロウンカ

発生現況：やや少

ほ場調査：やや少 発生ほ場率 6.0%（平年 39.6%）、0.2 頭/10 株（平年 5.5 頭/10 株）

予察灯誘殺数（6月9日～7月8日、県内3か所合計）：平年並 54 頭（平年 155.3 頭）

今後の予想：やや少

予想の根拠：現況発生量（－）、飛来量（±）、気温は高い（＋）

備考：主な飛来日は6月10日（少飛来）、6月15日（中飛来）、6月22日（中飛来）、7月14日（少飛来）頃。防除適期は7月25日～8月1日。株当たり50頭以上（成虫・幼虫）の発生があれば防除を行う。ウンカ類に効果の高い箱施用剤が使用されていないほ場（直播栽培、飼料用米等を含む）では、発生状況をよく確認し、防除の目安を参考に防除を実施する。また、飼料用米では多発する場合があるので注意する。

○トビイロウンカ

発生現況：平年並

ほ場調査：平年並 発生ほ場率 0%（平年 3.3%）、0 頭/10 株（平年 0.04 頭/10 株）

予察灯誘殺数（5月11日～7月8日、県内3か所合計）：平年並 0 頭（平年 1.4 頭）

今後の予想：平年並

予想の根拠：現況発生量（±）、飛来量（±）、気温は高い（＋）

備考：7/14 現在、県内で未確認。防除の目安は7月下旬～8月上旬で100株当たり20頭以上。

○ヒメトビウンカ

発生現況：平年並

ほ場調査：平年並 発生ほ場率 18.1%（平年 23.5%）、0.5 頭/10 株（平年 0.6 頭/10 株）

今後の予想：平年並

予想の根拠：現況発生量（±）、気温は高い（＋）

○ツマグロヨコバイ（萎縮病）

発生現況：やや少（ツマグロヨコバイ）

ほ場調査：萎縮病 未確認

ツマグロヨコバイ やや少 発生ほ場率 12.0%（平年 19.2%）、0.2 頭/10 株（平年 0.6 頭/10 株）

今後の予想：やや少

予想の根拠：現況発生量（－）、気温は高い（＋）

○コブノメイガ

発生現況：平年並

ほ場調査：平年並 発生ほ場率 10.8%（平年 9.6%）、被害葉率 0.0%（平年 0.1%）、成虫払い出し虫数 0 頭/20 回（平年 0.2 頭/20 回）

今後の予想：平年並

予想の根拠：現況発生量（±）、気温は高い（+）、飛来状況（-）

備考：主な飛来日は、6月22日（少飛来）、7月14日（少飛来）頃。7月21日～23日頃、8月13日～22日頃が成虫の主要発生時期となる。成虫の払い出し調査で1㎡当たり5頭以上であれば粒剤は直ちに、液剤では1週間後に防除を行う。特に葉色の濃いイネでは被害を受けやすいので注意する。

○ニカメイガ

発生現況：平年並

ほ場調査：平年並 発生ほ場率 0%（平年 0%） 被害株率 0%（平年 0%）

予察灯誘殺数（6月9日～7月8日、県内3か所合計）：平年並 0 頭（平年 0 頭）

今後の予想：平年並

予想の根拠：現況発生量（±）、気温は高い、降水量はほぼ平年並（+）

備考：防除時期：第2世代若齢幼虫期（平年8月中旬）

○フタオビコヤガ

発生現況：多

ほ場調査：多 発生ほ場率 1.2%（平年 0.2%）、0.0 頭/10 株（平年 0.0 頭/10 株）

予察灯誘殺数（6月9日～7月8日、県内3か所合計）：多 13 頭（平年 1.9 頭）

今後の予想：多

予想の根拠：現況発生量（+）、気温は高い（+）

備考：葉色の濃いイネで被害が出やすいので、窒素過多を避ける。

○イネツトムシ

発生現況：やや多

ほ場調査：やや多 発生ほ場率 3.6%（平年 0.6%）、つと数 0.0 包/25 株（平年 0.0 包/25 株）

今後の予想：やや多

予想の根拠：現況発生量（+）、気温は高い（+）

備考：防除時期：若齢幼虫最盛期 7月中旬～下旬。7月中下旬に葉色が濃く軟弱な生育のほ場で被害を受けやすい。

○イネクロカメムシ

発生現況：やや多

ほ場調査：やや多 発生ほ場率 2.4%（平年 1.2%）、虫数 0.0 頭/25 株（平年 0.0 頭/25 株）

今後の予想：やや多

予想の根拠：現況発生量（+）、気温は高い（+）

備考：畦畔付近で発生が多いため、畦畔付近を中心に防除を行う。

○斑点米カメムシ類

発生現況：多

雑草地 20 回すくい取り：多 378.3 頭（平成 111.1 頭）主要種：クモヘリカメムシ 10.8 頭（平成 12.5 頭：平成並）、アカスジカスミカメ 314.5 頭（平成 80.6 頭：多）、ホソハリカメムシ 16.6 頭（平成 7.3 頭：多）

予察灯誘殺数（6 月 6 日～7 月 5 日、県内 3 か所 5 種合計）：多 2,912 頭（平成 713.6 頭）
内訳：クモヘリカメムシ 73 頭（平成 10.3 頭：多）、アカスジカスミカメ 2,208 頭（平成 558.1 頭：多）、アカヒゲホソミドリカスミカメ 553 頭（平成 136.2 頭：多）、ミナミアオカメムシ 31 頭（平成 7.7 頭：やや多）、イネカメムシ 47 頭（平成 1.3 頭：多）

今後の予想：多

予想の根拠：現況発生量（+）、気温は高い（+）

備考：出穂 2 週間前までに草刈りを実施する。

令和 7 年 7 月 7 日付け令和 7 年度病害虫発生予察注意報第 1 号参照。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22328.html>

【大豆】

○ハスモンヨトウ

発生現況：平成並

フェロモントラップ誘殺数（6 月 6 日～7 月 5 日、県内 5 か所合計）：平成並 2,291 頭（平成 2,129 頭）

今後の予想：平成並

予想の根拠：現況発生量（±）、気温は高い、降水量はほぼ平成並（+）

○吸実性カメムシ類

発生現況：やや多

予察灯誘殺数（6 月 6 日～7 月 5 日、県内 3 か所 3 種合計）：やや多 64 頭（平成 21.3 頭）
内訳：イチモンジカメムシ 24 頭（平成 2.8 頭：多）、アオクサカメムシ 9 頭（平成 10.7 頭：やや多）、ミナミアオカメムシ 31 頭（平成 7.8 頭：やや多）

今後の予想：多

予想の根拠：現況発生量（+）、気温は高い（+）

【果樹全般】

○カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

発生現況：少

予察灯誘殺数（6 月 6 日～7 月 5 日、県内 4 か所合計）：少 15 頭（平成 326.6 頭）
チャバネアオカメムシフェロモントラップ誘殺数（6 月 11 日～7 月 10 日、県内 4 か所合計）：少 89 頭（平成 5,607.5 頭）